

市立ひらかた病院経営強化プラン
(第3次中期経営計画)
に関するアンケート調査結果

令和5年(2023年)3月
市立ひらかた病院

1. 調査の概要

1-1 調査の目的

令和4年（2022年）3月に総務省から示された「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」により、病院事業を設置する地方公共団体は、令和5年（2023年）度までに新たな「公立病院経営強化プラン」を策定することが求められています。

市立ひらかた病院では令和4年（2022年）度中のプラン策定に向けて作業を進めており、「市立ひらかた病院経営強化プラン（第3次中期経営計画）」（案）がまとまったことから、これに対する意見や要望を把握することを目的としてアンケート調査を実施しました。また、本調査を通じて把握した地域医療や医療体制に対するニーズなどについては、今後の医療提供体制の充実に向けて活用していきます。

1-2 調査項目

- ・市立ひらかた病院の利用状況、受診する医療機関の選択理由
- ・今後、市立ひらかた病院へ希望する医療機能・医療サービス
- ・今後の市立ひらかた病院の経営形態
- ・今後、発信してほしい医療情報・情報発信方法

1-3 調査期間

令和4年（2022年）12月12日（月曜日）から
令和5年（2023年）1月13日（金曜日）まで

1-4 調査方法

- （1）インターネットアンケート専用フォームへの入力による回答
- （2）市立ひらかた病院内での調査票記入による回答

1-5 回収結果

インターネットによる回答者数	50名
調査票による回答者数	73名
合計	123名

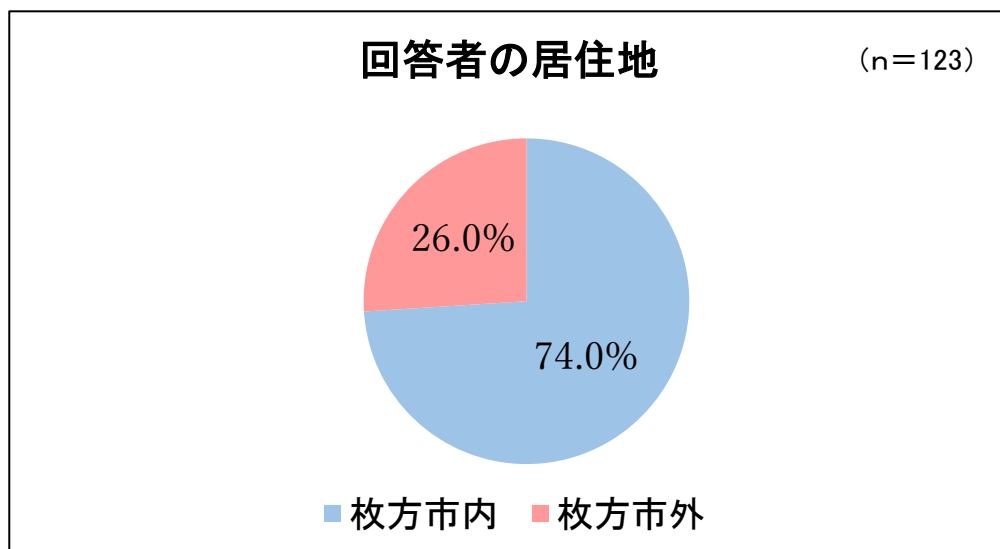
1-6 その他

- （1）グラフの上部に記載しているアルファベット n は、その設問に対する回答者数を示しています。
- （2）構成比はパーセントで表し、その設問の回答者数を基数（件数）として算出しています。複数回答がある設問の場合、合計値が100%を超える場合があります。また、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。

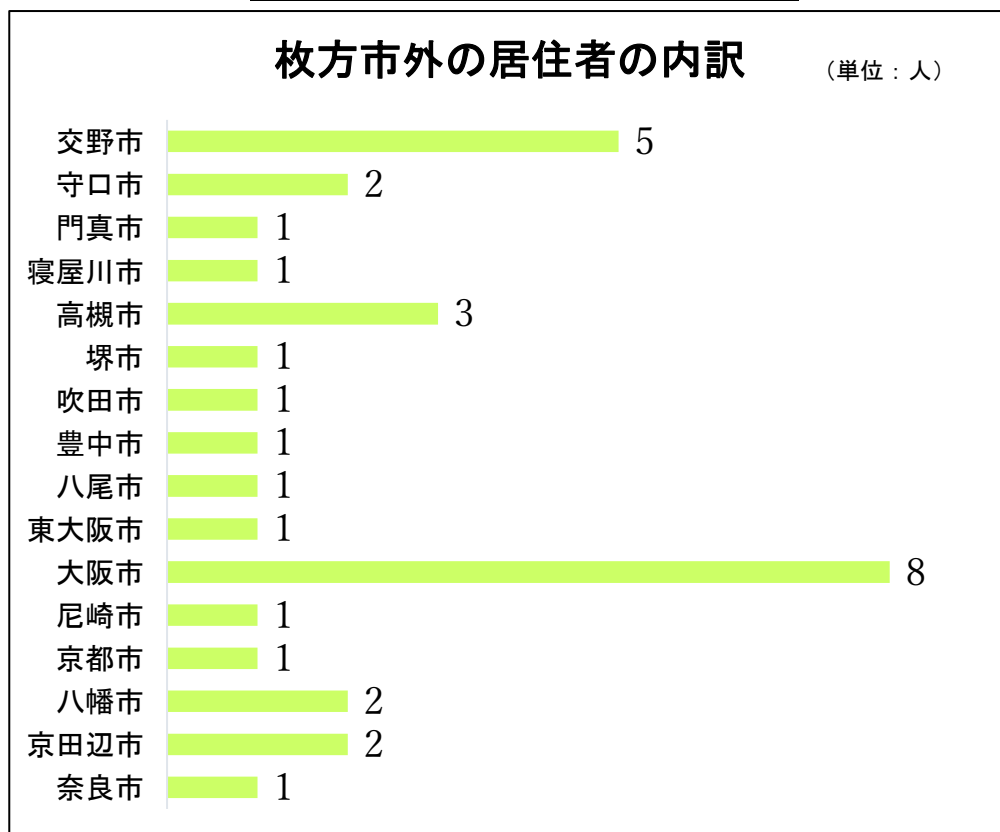
2. 調査結果

2-1 回答者の基本属性

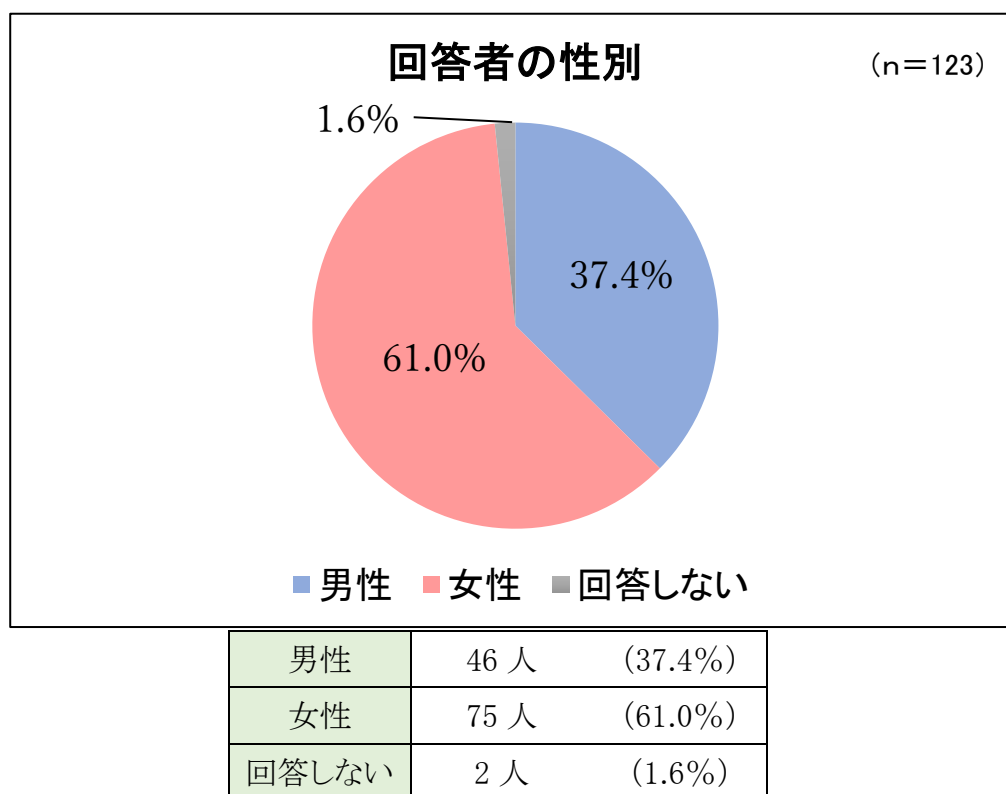
(1) 居住地（質問1）



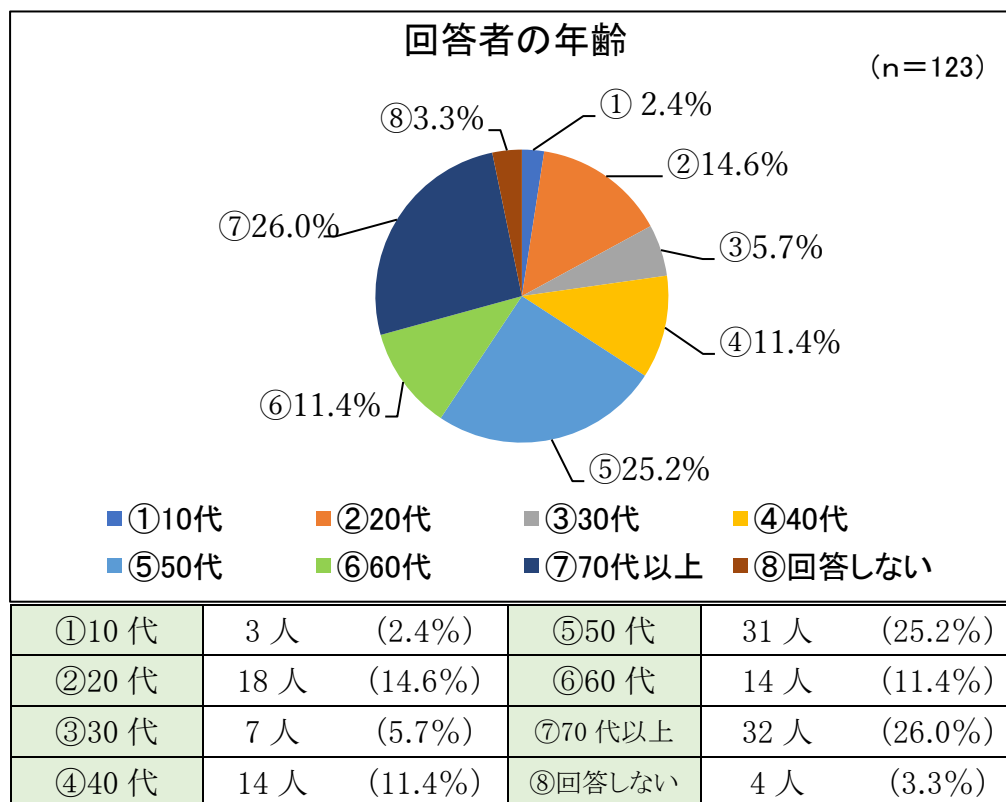
枚方市内	91 人	(74.0%)
枚方市外	32 人	(26.0%)



(2) 性別 (質問2)

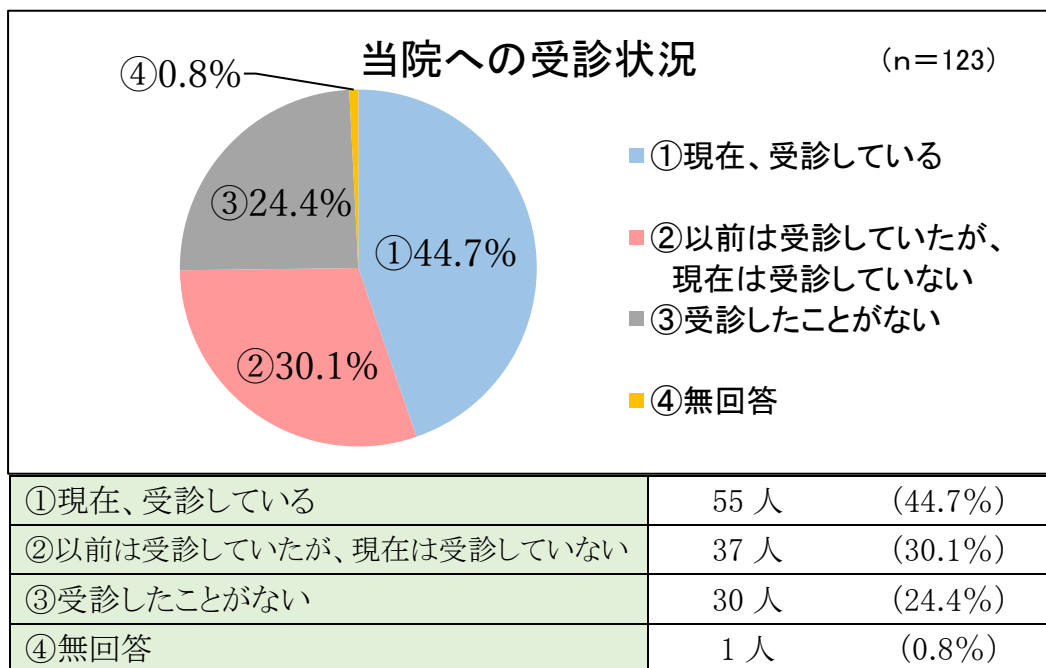


(3) 年齢 (質問3)

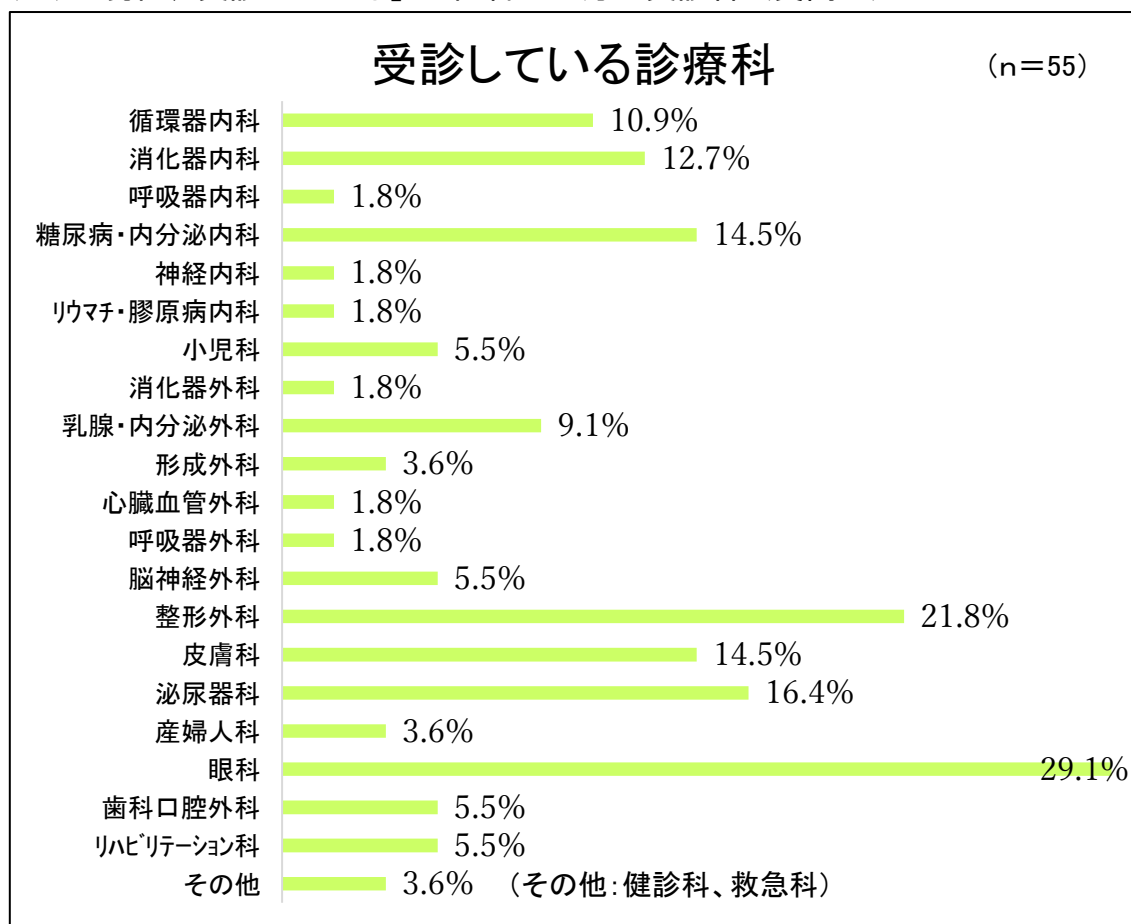


2-2 当院への受診状況

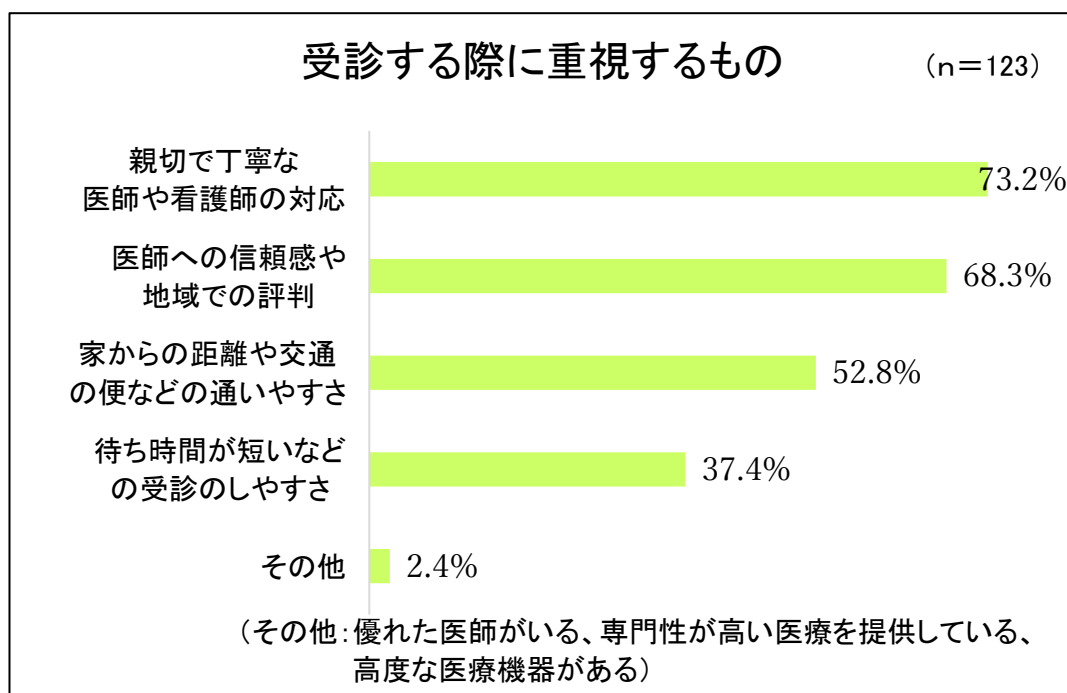
(1) 受診状況 (質問5)



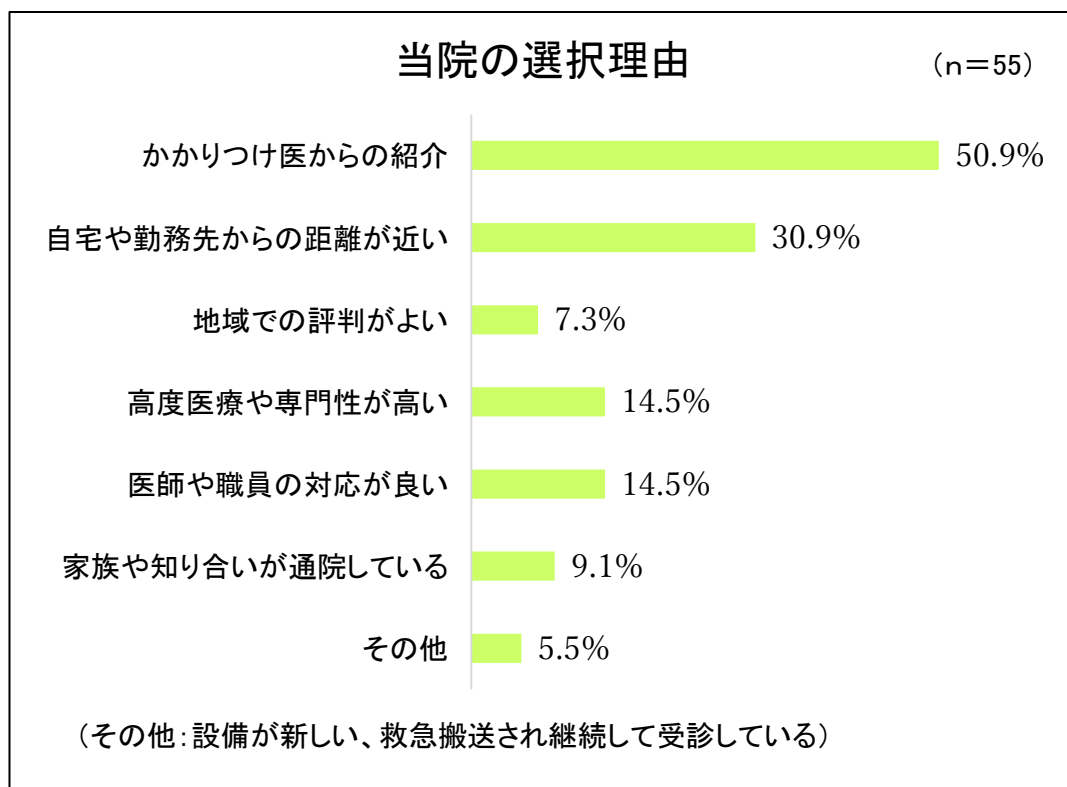
(2) 「現在、受診している」と回答した方の受診科 (質問6)



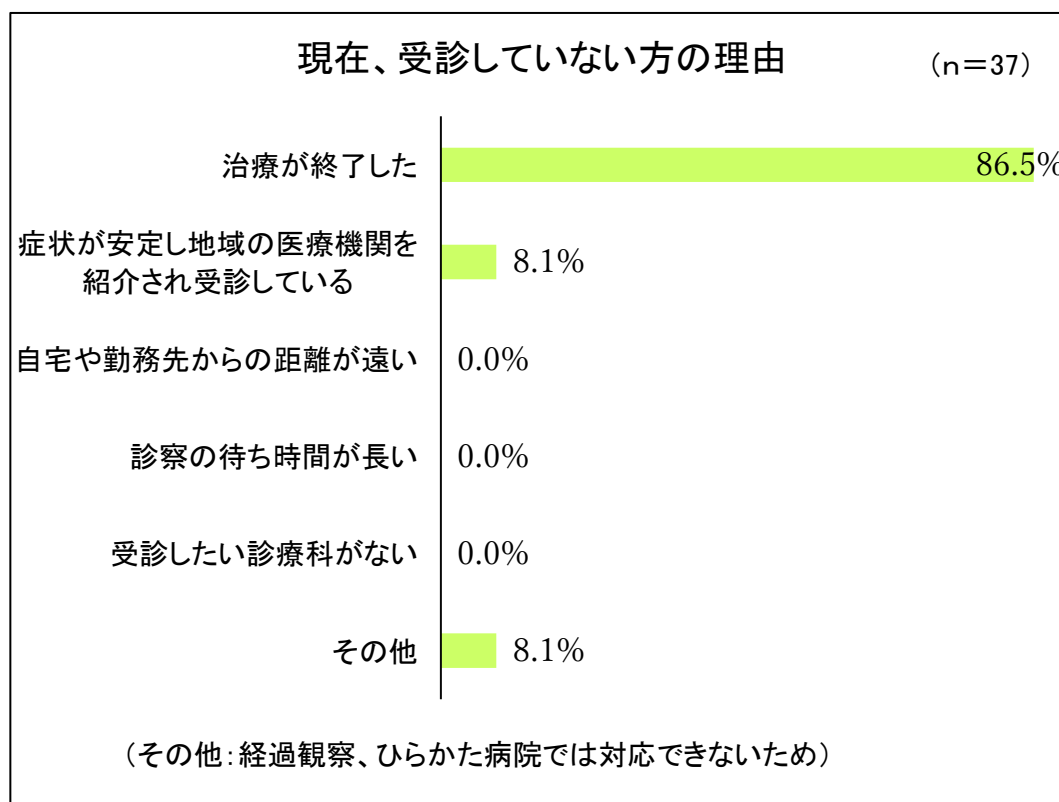
(3) 医療機関の選択理由 (質問4)



(5) 市立ひらかた病院を選択した理由 (質問7)
(問5で「現在、受診している」を選んだ場合)



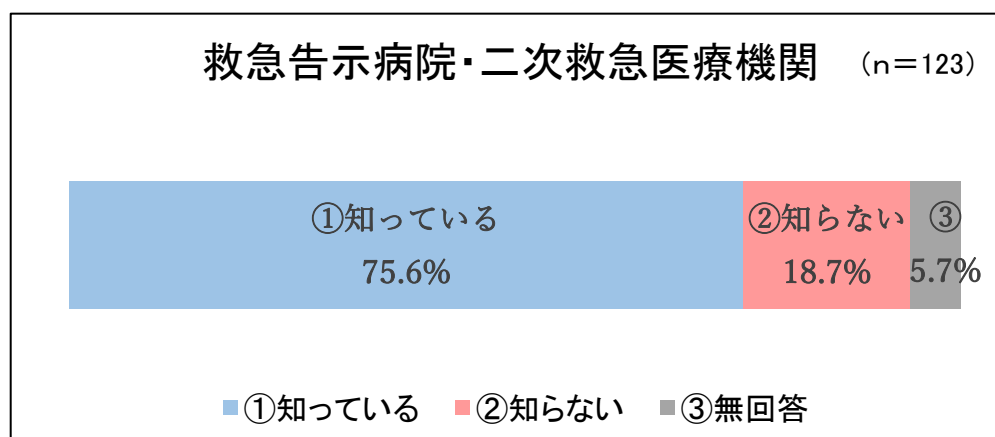
- (6) 以前は、受診していたが、現在受診していない理由 (質問 8)
 (問 5 で「以前は、受診していたが、現在受診していない」を選んだ場合)



2-3 市立ひらかた病院の医療機能について

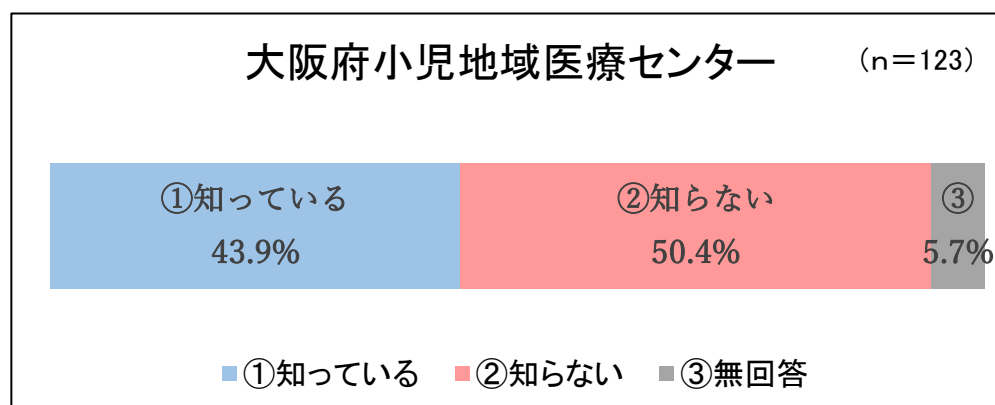
- (1) 救急告示病院・二次救急医療機能 (質問 9 (1))

24 時間・365 日体制で救急患者を受け入れ、緊急度・重症度に合わせて迅速に対応する機能



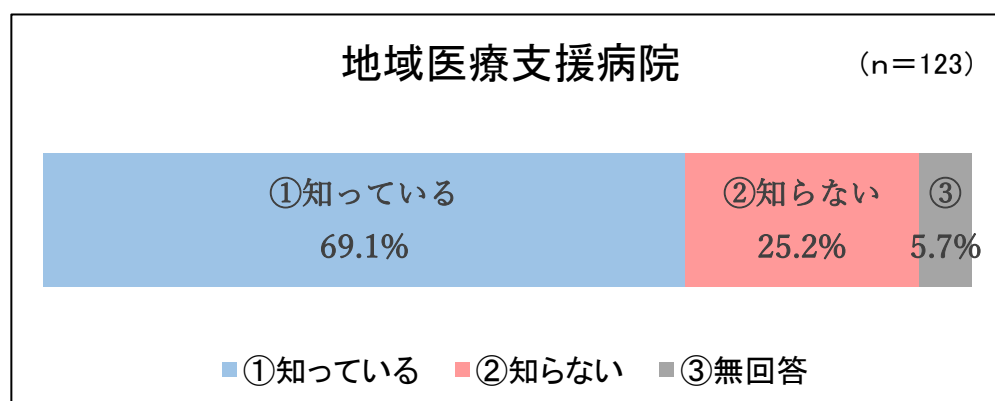
(2) 大阪府小児地域医療センター (質問9 (2))

かかりつけ医など一般の小児医療機関では対応が困難な小児患者を
24 時間体制で受け入れて対応する機能



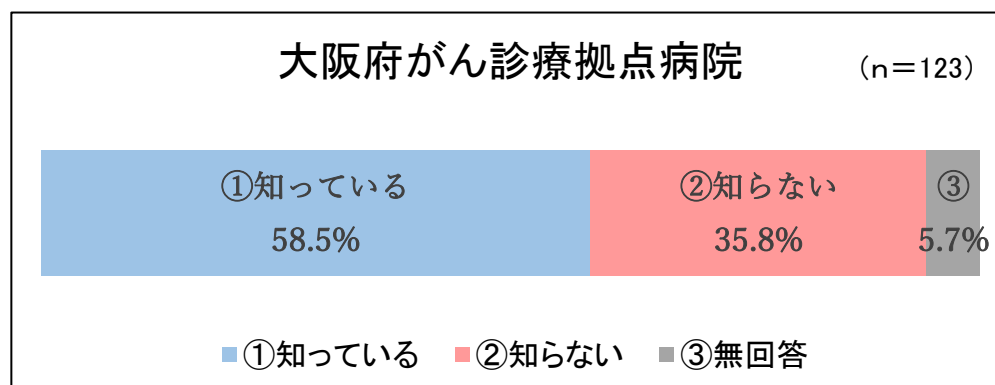
(3) 地域医療支援病院 (質問9 (3))

地域医療機関の中心的な役割を担う医療体制を整備し、地域のかかり
つけ医と連携して紹介された患者さんに専門的な医療を提供する機能



(4) 大阪府がん診療拠点病院 (質問9 (4))

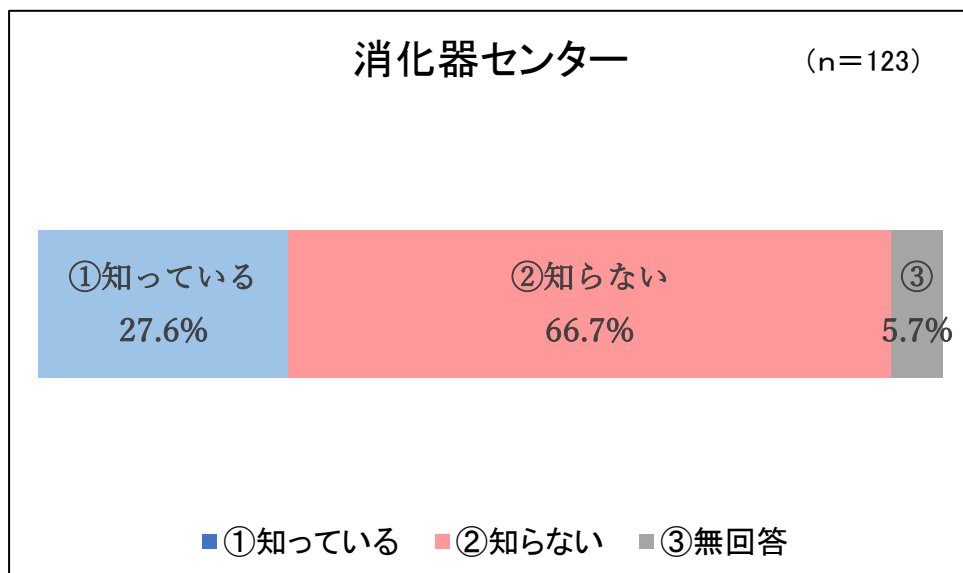
がん治療をはじめ、在宅医療の支援、緩和ケア医療、がん患者・家族
等に対する相談支援など包括的ながん診療機能



2-4 市立ひらかた病院の専門的な医療

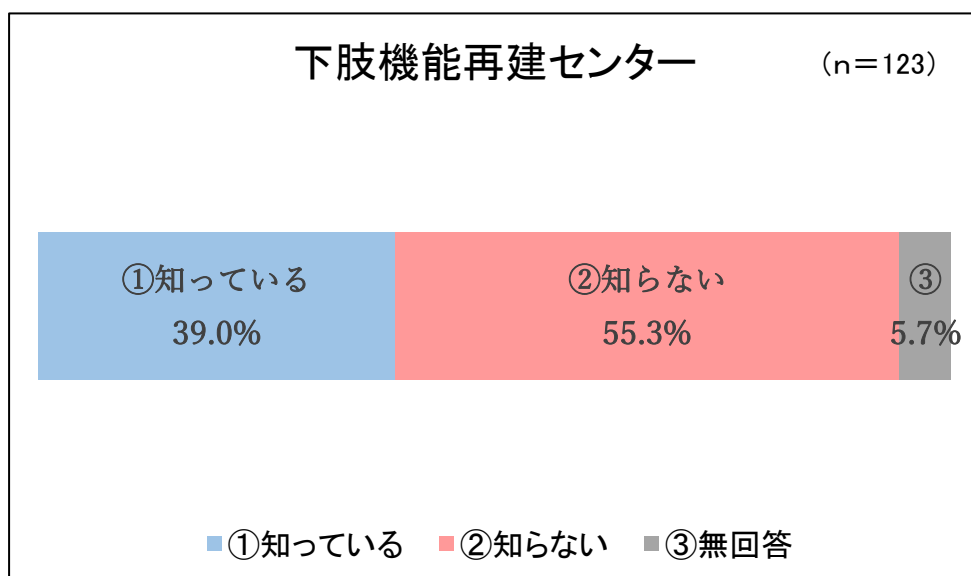
(1) 消化器センター（質問 10（1））

消化器内科と消化器外科を一元化し、検査から診断・治療までの一連の診療をよりスムーズに行うことができる「消化器センター」

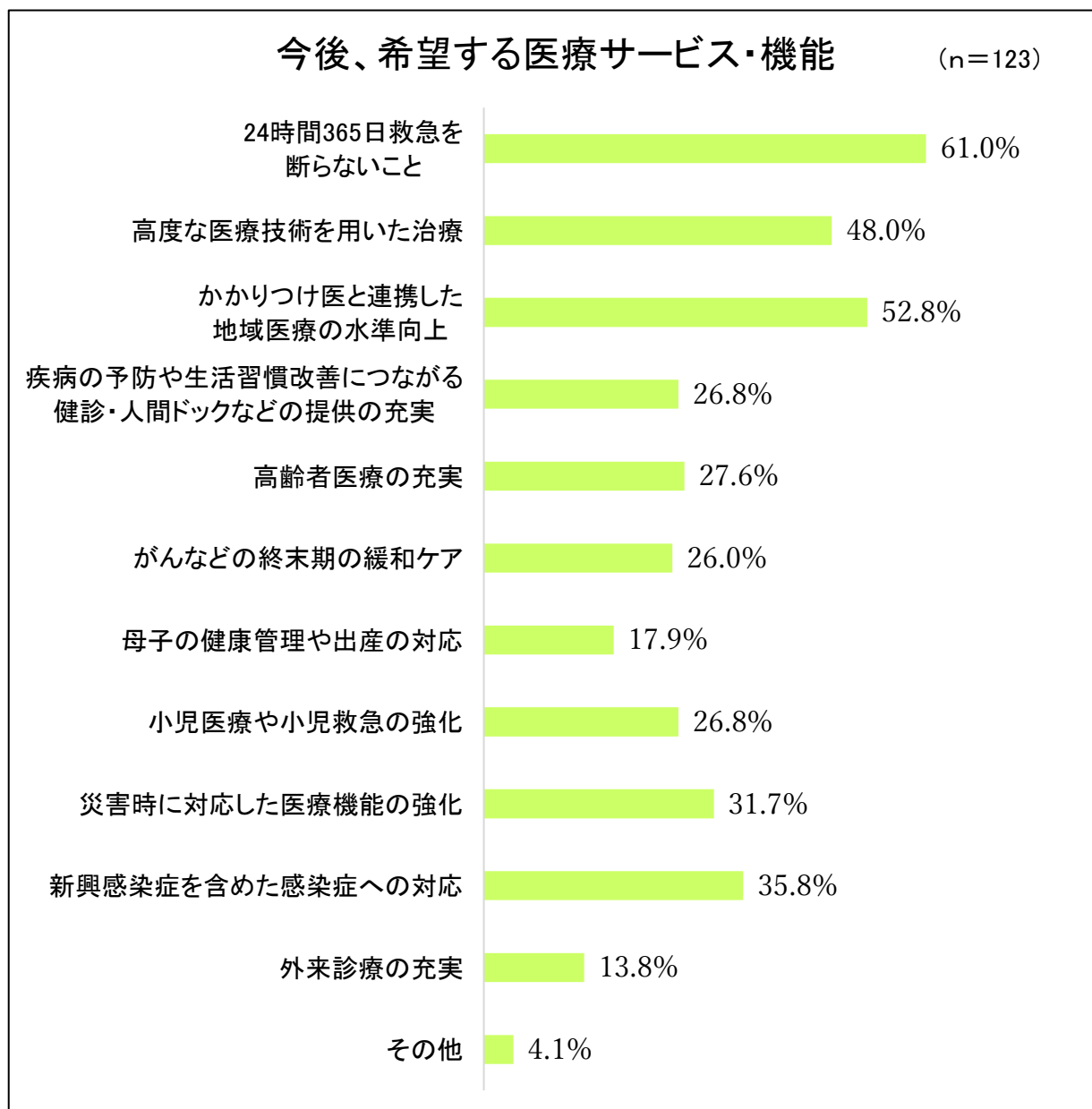


(2) 下肢機能再建センター（質問 10（2））

関節の痛みなどにより日常生活に支障をきたしている方や、スポーツや仕事をする時に痛みを悩まされている方などの再建・回復を専門に取り組む「下肢機能再建センター」



2-5 今後、市立ひらかた病院に希望する医療サービス・機能（質問 11）



◆外来診療の充実を希望する診療科

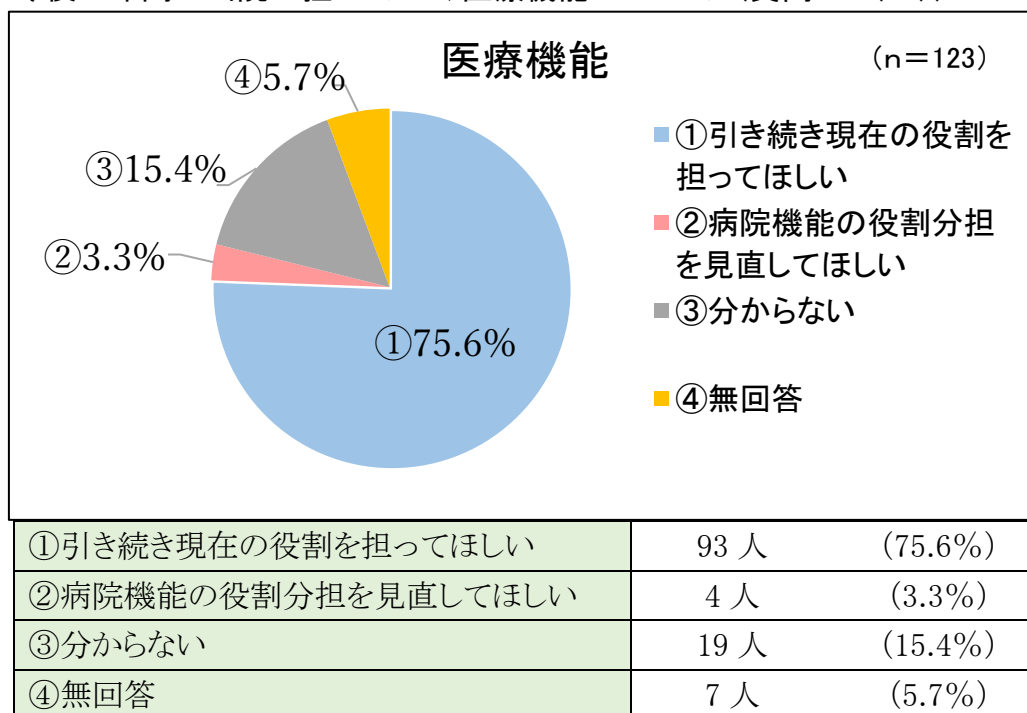
呼吸器科・内科・糖尿病内科・消化器内科・脳神経外科・精神診療内科

◆その他希望する機能・サービス

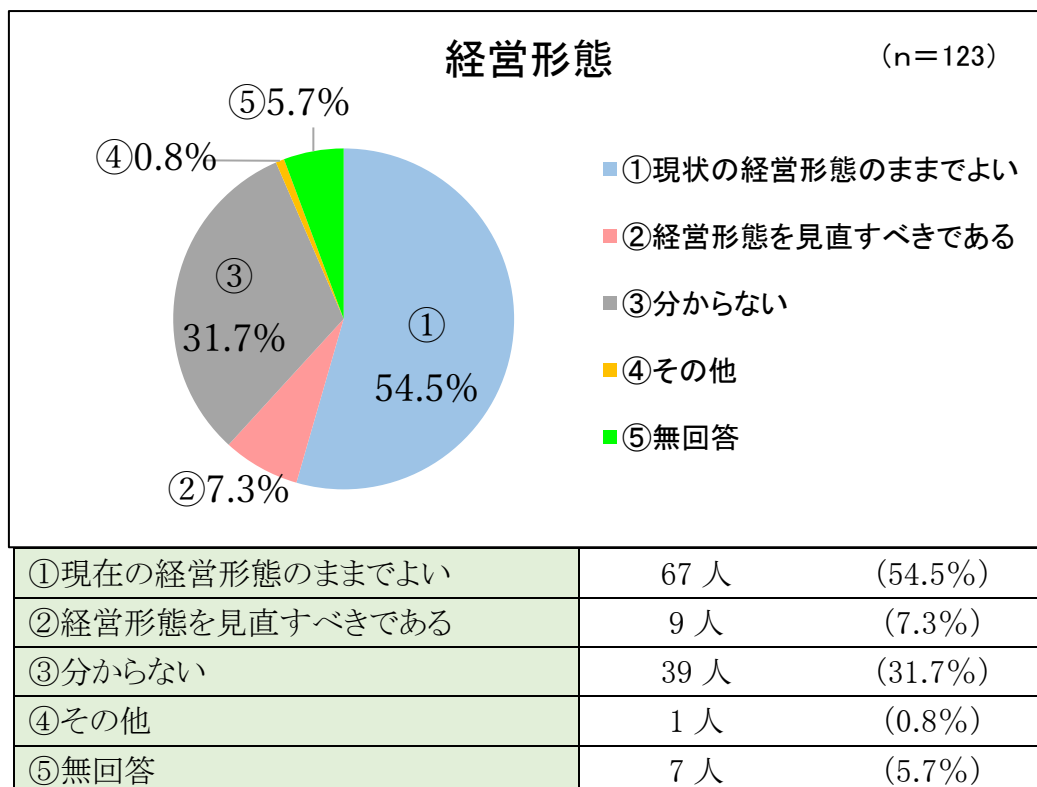
- ・待ち時間の軽減
- ・心臓・脳・肺の救急処置
- ・長期治療の充実
- ・不妊治療
- ・訪問看護ステーションと連携した在宅医療の水準向上
- ・高齢患者の対応
- ・難病患者の対応
- ・AYA 世代がんに対する支援
- ・認知症、外科的リハビリの充実

2-6 市立ひらかた病院の今後の医療機能および経営形態

(1) 今後5年間に当院が担っていく医療機能について（質問12（1））



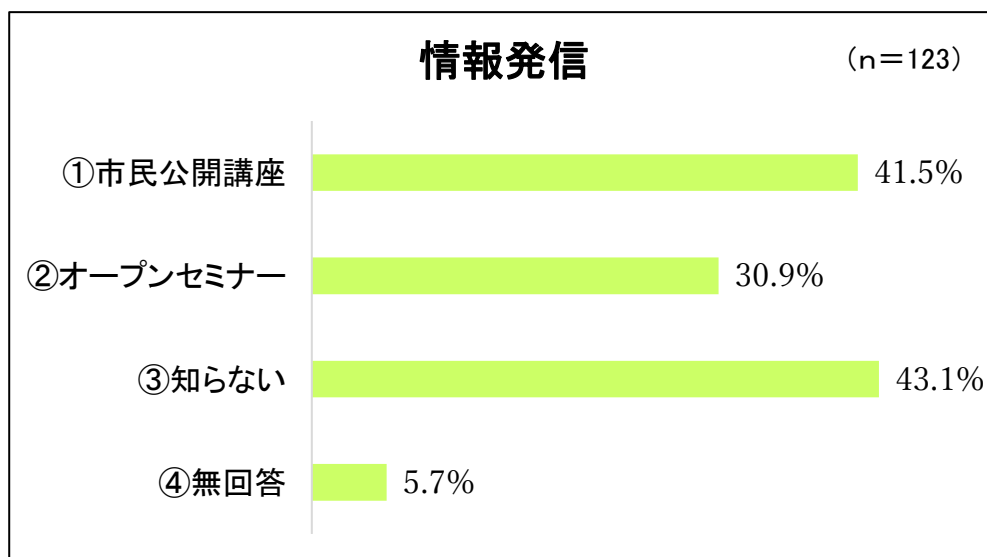
(2) 今後の経営形態について（質問12（2））



（その他：患者にとってよりよい医療を提供できる経営形態）

2-7 情報発信

(1) 情報発信の取り組みについて（質問 13（1））



(2) 今後、発信してほしい情報や情報発信方法について（質問 13（2））

◆発信してほしい情報等

- ・ 向老期の健康維持に向けた生活（栄養・運動・健診）に関する情報。
- ・ 健康に関するセミナーと、老後の健康対策。
- ・ 健康を維持できる予防医学・健康維持の促進方法。
- ・ 各診療科の最新治療方法。
- ・ 専門的になにができるのかを教えてほしい。
- ・ 脳ドックの必要性。
- ・ 糖尿病関係の情報。（かかってから実感しましたが、実態と一般のイメージと大きな隔たりがあります。）
- ・ 感染症に関する詳しい情報。
- ・ 急病時の連絡方法や連絡先の番号など分かりやすくチャート表して、市民に配布してほしい。
- ・ 紹介状が必要な病院であることを周知してほしい。
- ・ 職員募集の情報などを SNS を通じて効果的に発信すべきだと思います。
- ・ YouTube を用いての市民公開講座やオープンセミナーの開講。既開催分の掲載。

- ・病院で開催している講座や医療従事者による医療・健康関係の連続講座を YouTube などを実施してほしい。
- ・コロナで web による会議や講座の開催についての垣根が低くなり、参加のしやすさが評価されるようになったので、講座やセミナーを web でも参加・視聴できるよう考えてほしい。また、過去の講座やセミナーについても視聴できるようにしてもらえると嬉しい。
- ・病院として、市としてもっと情報公開やアピールすることができるはずと期待しています。

◆情報発信方法

- ・ホームページの情報の充実。
月一とか定期的に更新して情報発信できたらいいのではと思います。
- ・広報ひらかたへの情報掲載。
- ・インターネットで見ることができる講座。
- ・セミナーや公開講座のオンライン化。
(アーカイブで後から見られるようにしてもらえると尚良しと思います。)
- ・SNS による情報提供。高齢者には訪問、または架電による状況確認を兼ねた情報提供。
- ・府・市等の公共施設等の SNS を利用したコマーシャル・アピールの展開。

2-8 その他（質問 14）

（１） プランに対する感想・意見等

意 見	回 答
これからの高齢化社会への対策・対応などを充実させることも大切では。	本院が位置する北河内二次医療圏では、令和２年度時点で 65 歳以上の人口割合が全国平均よりも高くなっており、今後高齢者人口が維持されると見込まれています。 これを踏まえ、本プランでは第３章『４．当院の役割・機能の最適化（２）当院の医療機能の最適化と連携強化に向けた具体的方策 ② 地域の高齢者の増加に対する対応力強化』として、大阪府がん拠点病院の取り組み等について記載しています。【P24】
個々の患者の細かい状態や不安の相談口になる、総合的な医師や窓口を作ってほしい。	本院では、医療相談・連携室に窓口を設置し、医療ソーシャルワーカーが、患者の皆様やご家族の皆様の医療に関する不安や、福祉サービスなど様々なご相談に対応しています。 本プランでは、今後について第３章『４．当院の役割・機能の最適化（２）当院の医療機能の最適化と連携強化に向けた具体的方策 ② 地域の高齢者の増加に対する対応力強化』の中で、複数疾患等の初診を行う総合診療科設置の検討について記載しています。【P24】
急病時に休日・夜間でも対応してもらえるなど、地域の安心を最大限確保してもらいたい。	本院では、地域からのニーズ等も踏まえ、今後においても政策医療を提供する急性期病院としての機能を維持していくこととしています。 本プランでは、そのための具体的な方策として、第３章『４．当院の役割・機能の最適化（２）当院の医療機能の最適化と連携強化に向けた具体的方策 ① 政策医療の提供』等で地域の安心を最大限確保していくための取り組みを記載しています。【P23】

意 見	回 答
医療機能の役割分担を行うにあたって、各医療機関の連携や、地域全体の医療について誰が中心になって進めていくのか。	地域医療の役割については、現在、大阪府を中心に地域医療構想の議論が進められており、本院はこの議論の内容も踏まえ、今後においても急性期病院としての機能を維持していくこととしたものです。【P22】 また、近隣の医療機関との連携については、地域医療支援病院である本院が中心的役割を担っていく必要があると考えています。【P26 他】
子どもの医療やコロナ等の感染症のとりでになってほしい	本院では、小児医療については、小児救急医療と入院機能を有する「大阪府小児地域医療センター」として、感染症医療については、新型コロナウイルス感染症の「重点医療機関」及び北河内医療圏唯一の「感染症指定医療機関」として、必要な医療を迅速かつ適切に提供できるよう努めてきました。 本プランでは、今後においても、これらの役割を担っていくことについて、第3章『4. 当院の役割・機能の最適化（2）当院の医療機能の最適化と連携強化に向けた具体的方策 ①政策医療の提供』に記載しているほか、感染症については、個別に『第6章 新興感染症への取り組みについて』を設け、更なる充実を図っていくこととしています。【P23】【P32】

《その他の意見等》

- ・高齢者等の健康維持に力を入れて下さい。
- ・救急医療、小児医療に力を入れていただくとともに、コロナ禍においては、検査や治療、入院の受け入れなど頑張ってくださいありがとうございます。公立病院は、市民の大切な財産だと思っています。これからも頑張ってください。
- ・「政策医療を提供する急性期病院」に賛同するが、回復期や慢性期についても、枚方市として責任をもった体制整備を行ってほしい。
- ・地域医療における中核病院として頑張ってください。
- ・良い医療サービスを提供し続けていくためには、安定した経営が必要不可欠だと思いますので、頑張ってください。
- ・高額と思いますが、最先端の機器の導入を是非。例えばPET など。

- ・ 情報発信の強化は良いことだと思います。また、患者さんのメンタルケアやご家族の不安に寄り添うようなシステム（カウンセリングなど）の充実もして頂ければと思います。地域の拠点病院として、患者さんやご家族に寄り添っていてほしいです。
- ・ 寄り添ってくれる病院でいてほしい。
- ・ 以前より貴院は太陽光発電システムの患者様への案内等、患者様への情報発信とともに病院の「ブランディング」に関して非常に意識されておられる事に加え、今回の試み、非常に感銘を受けております。
- ・ 民間病院に比べ、圧倒的にマンパワー不足しているように思う。患者の受け入れには医療職の増員が不可欠であるが、派遣職員で救急を回している状況については早急に改善してほしい。

先進医療など新しいことを導入することは良い取り組みだとは思いますが、関西医大などの高度医療を担う病院にお任せできるところはお任せして、人員増など病院としての基本的機能を他病院と比較しても遜色無い状態にまで引き上げることを先ず優先してほしい。

(2) その他、当院に対するご意見等

意 見	回 答
アンケートでは、受け入れると記載されているが、夜間緊急時の高齢者診療を断られた。	現在、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大し、特に発熱者の救急患者が増加したことで、救急外来が逼迫し、救急患者の受入れが困難となる状況が発生するなど、患者様大変ご迷惑をお掛けすることとなり、申し訳なく思っております。 しかしながら、当院は「断らない医療」を標榜し、救急車からの応需率の目標を掲げるとともに、スムーズな受入れを行えるよう、最大限努めてまいります。
整形外科の待合場所が狭い。 受診番号表示板もその狭い場所に行かなければ、番号の確認ができないため、不便である。	待合場所につきましては、現状の診療室等の確保及び位置関係から拡張については難しいものと考えております。 これを踏まえ、診察室の呼出モニターにつきましては、当該診察室での状況を表示するため診察室ごとに設置しているほか、各フロアの診察状況を、1階受付前ロビーや2階レストラン内などのモニターにて表示しております。 また、スマートフォン等から診察状況が確認できるサービスも運用していますので、必要に応じてご利用ください。 (※一部の診療科を除きます)
駅からアクセスが悪い。 15分間隔でよいので、誰もがわかる病院への移動手段を明確にしてほしい。	最寄りのバス停に、1日で300本を超える停車があることから、市内の他の病院と比較しても、交通の利便性はかなり高いものと考えております。 ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。
敷地内でもそれ以外でもよいので喫煙所を設置してほしい。	病院機能評価の評価項目や算定している診療報酬の基準に基づき、本院は敷地内禁煙とさせていただきます。 ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。
受付の対応が悪すぎる。 毎回気分が悪い。	接遇などについては、これまでも、委託業者に対して接遇研修をはじめ、社員教育の徹底などを促してきたところです。 今回のご意見を踏まえて、認識を共有し、さらなる接遇改善に取り組んでまいります。
言葉がきつい先生や看護師がいて、怒られているような気持ちになる。	患者サービスの向上は、患者・職員が話しやすい雰囲気になり、「安全な医療の提供」にもつながることから、さらなる職員の接遇向上に努めてまいります。 なお、今回のご意見を踏まえて、院内共有を図り、さらなるサービス改善につなげてまいります。

《その他の意見等》

- ・貴院に「強化プラン」があることを初めて知り、病院の取組に関して何も知らないことに気づいた。

病院に関心を持つきっかけ作りは大切だと思う。

- ・先生も看護師さんもいいなと思います。

どうぞ、ひらかた病院が一番いいと思う病院になっていただければ、大変大変うれしいです。期待しています。

- ・癌や難病にウイルスの研究に励んでおられる医師・研修医に敬意を表したいです。

- ・待合室では掲示されている「基本理念」が目にとまり期待しています。専門職についている方々の優しさや温かさは病気の回復にも大きな影響を与えんと思います。

- ・「運営」が良ければ、経営は自然と良くなるもの。

- ・過去からの体制を踏襲しつつ前向きに経営改善を行おうと懸案している姿勢に好感を覚えます。特にその姿勢のバランス感覚が経営陣の秀逸さを感じます。さすが、地域医療に多大な責任を担うことを大いに自覚されたひらかた病院の方々と思いました。

個々には、眉を潜めてしまうような対応をされる方もいるので教育体制

（特に接客のマナーや言葉遣い）に疑問を感じることはありますが、貴院に対しては大きな信頼を寄せています。

特に強化プランについて申し上げることはありませんが、強いて言うなら拝読した内容はまず進めなければ結果が不透明なことが多いように感じられるので5年後にどうなっているのか、また、その結果どのように進むのかを見てみたいと思います。

- ・リーダーシップを持ってとても早いスピード感で経営判断をしていくことがこれからの時代求められます。また、その場その場で適切な判断をして行動ができるかが、これからの時代クオリティ・オブ・ライフを高めるために非常に重要な能力になっていきます。これからの前途が、未来が幸せになるのを祈っています。